

CSW-I/CSI2/CSI3 クリカリー-FW-2010S(発酵乳酸)洗浄方法

① 庫内の洗浄を行います。

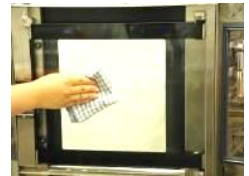
【汚れていない場合】

1. 庫内温度を 50℃以下にしてハンドシャワーで洗い流します。
2. ドアガラスやドアパッキンの水をふき取り、目皿を取外し洗います。



【汚れている場合】

1. 庫内温度を 50℃以下にします。
2. 専用洗剤（コメットタフナー-A）を庫内にまんべんなく散布し扉を閉めて 10 分放置します。
3. スチームモード E90℃で 10 分運転します。
4. ハンドシャワーでよくすすぎます。
5. ドアガラスやドアパッキンの水をふき取り目皿を取外し洗います。



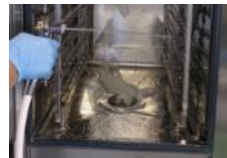
② 庫内に「クリカリー-FW-2010S」を吹きつけて扉を閉めます。

- ・特にファンカバー(ファン)に吹付けてください。
- ・庫内温度 100℃以上だと乳酸が乾燥して固着します。
- ・庫内に水分が残っていても問題ありません。



③ スチームモード E 90℃で 10分運転し庫内を洗浄します。

④ ブザーが鳴ったら扉を開けハンドシャワーで庫内をすすぎます。



※ ハンドシャワー使用後は『元栓』を閉め、レバーを握って下さい。
(残留水・圧を抜くことによりシャワーホースの老朽化を防ぎます。)

⑤ 扉を閉めホットモード 200℃で 10分運転し乾燥させます。
(CSI3 をお使いの方は **運転** を 2 回押す。)⑥ ブザーが鳴ったら完了。 **停止** を押します。(扉を開けておくとパッキンの負担を軽くできます。)

⑦ コントロールパネル側面の電源を『OFF』にします。

注意

- ・扉の開閉の際、蒸気・熱気に十分ご注意ください。
- ・庫内に水をかける場合は、庫内温度が 50℃以下に下がるまで絶対にかけないで下さい。
- ・スチコンを衛生的に、長期間お使い頂く為に弊社純正品「コメットタフナー-A」を必ず使用して下さい。
- ・清掃を開始する時は、「保護手袋・保護マスク・保護メガネ」のご使用をお願い致します。
- ※コメットタフナー-A以外の洗剤では、庫内の汚れが十分に落ちない場合や機器を痛める場合があります。また、配管の目詰まり・損傷・不具合については責任を負いかねます。
- ・コメットタフナー-A のお問い合わせはコメットカトウまでお願いいたします。